

1. 開催概要

- 開催日 : 2015年2月23日（月） 16:30～19:00
- 開催場所 : BCAO 東京オフィス
- 進行役 : 大塚（座長）
- 議事録作成 : 大塚（座長）
- 出席者数 : 7名（出席者名は末尾参照）
- 配布資料 : [FCB Health digital capabilities]（伊藤 セナ氏より）
[Alpha Sights Outthink the Competition]（Daniele Bourne 氏より）

2. 議事内容

(1) はじめに（報告：大塚）

「今年は例年になく、全国的に寒波が襲来しています…」とアジェンダに書きましたが、今日は季節外れのぽかぽか陽気になりました。しかし、私にとってはつらい花粉の季節が始まりです。4月まで忍耐の日々です。今日はすてきなゲストお二人をお招きしています。お二人は現在NY在住でITを使ったビジネスのお仕事をされています。後ほど自己紹介を含めてお話しいただきます。

(2) ご連絡事項（報告：大塚）

- ① BCAO 運営会議（1/27開催）で「国連防災世界会議パブリックフォーラムプログラム」のアジェンダ案を紹介。会場は約100人のキャパで、現在20名程度の参加申し込みがあるそうです。講演、シンポ、受賞式、発表が終了したのち、別会場でパーティが行われるので（会費4000円）、もし、仙台に行かれる方は是非参加いただきたいとのことです。
- ② BCAO 事業継続(BC)推進セミナー@大阪が、3/18 13:30～大阪商工会議所で開催されます。内容はBCAOアワード2014受賞者の講演です。
- ③ BCAO 月例研究会が 2/27(金) 13:30～代々木国立オリンピック記念青少年総合センター センター等で開催されます。内容はBCAOアワード2014受賞者の講演を予定しています。（詳細BCAO HP参照）

(3) 2014 BCAO アワード選考委員会第二回会合；1/16 18:30-

各賞の受賞者が決定しました。大賞 4件、優秀実践賞・特別賞 3件、優秀実践賞 4件、特別賞 1件、奨励賞 2件、訓練賞 3件、企業防災賞・震災対応特別賞 1件、企業防災賞 1件です。詳細はBCAO HPで参照ください。

受賞者は2月、3月のBCAO月例勉強会、その他で順次発表いただく予定です。

(4) 先月MLで話題になったテーマ（報告：大塚）

- ① 米オバマ大統領を巻き込む「ネットワークの中立性」とは。
議論の背景として、近い将来IoT・4K/8K画像データといった膨大なトラフィックがネットに発生した場合、End-to-Endのパフォーマンスを確保するために何

等かの流量制限をかける必要があります。米国は伝統的に民間主導でネットワークを敷設した経緯があり、どのトラフィックを優先するか民間が決めて実施することとなります。

インターネットが社会インフラとしてすべての利用者に平等に提供されるべきと考え、国全体としてどのようなルールを決めてガイドすべきでしょうか？

(議論)

- ・ 大画面モニターでもない限り、4k/8kは必要ない？→B2B (Medical/資源調査...) なら利用される可能性あり。
- ・ 日本においては逆に(旧)電電公社が独占的に物理的な回線を敷設した歴史があり、現在もNTTなどがこれを保有しています。従って米国ほど大きな問題にならないのではないかな？
- ・ ただし「有線」はNTT主導だが「無線」はDocomo, au, Softbank 3社の競争状態で事情がまったく違うので一括りに議論は出来ないはず。
- ・ 米国でも実際、政府サービス、警察、消防、国防などの最重要サービスについては国がネットワーク業者とSLA (Service Level Agreement) を契約して End-to-Endのパフォーマンスを確保している。

② 阪神・淡路大震災20年「メモリアル・コンファレンス・イン神戸」 (1/20-21)

「サイバーセキュリティ月間、キックオフ・シンポジウム」 (2/2) 開催

今年のサイバーセキュリティ月間 (2/1-3/18) のテーマは、「費用」から「投資」へ - 経営の活力を支えるサイバーセキュリティ -。

安全工学の教科書に次の例えがあります。

高性能のクルマで思いっきりアクセルが踏めるのはブレーキがしっかりしていて確実に止まるという保証があつてのこと。高い経営目標を掲げている企業にとって、全力で目標達成を狙うためには、経営に対するリスクについて十分に分析、検討し必要な対策を講ずるリスクマネジメントが欠かせなくなります。

(議論)

・ 欧米ではブランドバリューを死守するため経営に対するリスクマネジメントの意識は当たり前。食品の異物混入などの品質問題が発生した場合のクレーム対応は実にクイック。

ただし、日本的な感覚だと結構ドライ (割り切って対応する) であるような印象を受けます。

・ 日本(政府)として Made-in-Japan ブランドの価値向上で「安心-安全」に注目している。かつての(均一な)品質、低価格だけでは Global 競争に負けてしまう。

・ 米国ではさまざまなデバイスがインターネットにつながり、タブレットで制御できる IoT 環境が進んでいる。今後セキュリティ問題のすそ野が大変広がっていくと考えられる。

3. 本日のプレゼンテーション・意見交換（伊藤セナ様、Daniele Bourne 様）

「最新 NY ビジネス事情」というタイトルでお話しいただきました。

伊藤セナさんは、日本生まれで3（4）歳から NY に渡り、以後米国で学び、就職されています。ウエズリアン大学時代は、アイスホッケー、日本代表オリンピック候補として活躍されました。ただし残念ながら、日本は予選で敗退しオリンピック出場は実現しなかったということです。

現在所属されている FCB Health 社では、ヘルスケア業界のクライアント（武田、大塚製薬、第一三共）を対象に、主に Apple iOS (iPad など) 端末、Android 端末向け App の企画提案のお仕事をされています。ヘルスケア業界は国による厳しい規制下にあります（HIPPA とか）。また病院では例外とデジタル化が進まず Paper によるやり取りが多く、これが問題となっています。（もしかしたら日本の方がすすんでいる？）

Daniele さんは米国生まれ、（祖先はロシア出身らしい？ユダヤ系の血も交じっている）タフツ大学を卒業後、（タフツ大学は、伊藤穰一（マサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボ所長）村上春樹（小説家）も卒業している日本でもよく知られた大学）Alpha Sights 社で中長期の投資目的で企業に成長資金を供給、あるいは取締役を派遣し大規模な経営再建を実施するファンドに対し、必要な情報（知識）を提供するチーフ・アナリストとして活躍されています。いずれも、NY で最先端のビジネスの真ん中で最新のトレンドを経験されています。（添付資料に、各 FCB Health 社、AlphaSights 社の紹介あり）

（議論） S:伊藤セナ、D: Daniele

S: 現在、PC 利用が 3 割、Mobile が 7 割で Mobile First (クライアント環境が iPhone/iPad や Samsung 系スマホ、タブレット中心に使われること) 時代になっており、App 開発も iOS/Android を対象に行われる。

現在モバイルプラットフォームシェアは 50/50。iOS 系は開発環境が整っていて、やりやすい。Budget が制限されている場合 iOS 系のリリースを優先する。

一方で、いまだに Wall Street 企業 (= 上場企業、一流企業) は、会社支給の Black Berry 端末を使っている。もちろんプライベートではスマホを使っており、使い分けている。

S: Gmail は会社立ち上げの際、簡単にクイックに使えるようになるためよく利用されている。

（質問）一番セキュリティ的に問題がありそうですが？（よくメール ID+パスワードを盗まれてリスト攻撃に使われやすい）

S: 基本ルールである 30 日間パスワード変更は守っている。

D: 社内のネットワーク環境として Global で整備されており、BYOD (自分のスマホで) 繋げられる。セキュリティ認証は 2 段階。最初端末にログオンして次にネットワークにログオンする。（これも端末 APP）

D: 自分は APP ごと同じパスワードの使い回しをしている。もちろん 30 日ごとにパスワード変更は行う。プロバイダーを信用しているからである。

S: 最近決済サービスの Mobile Payment Service(メンモ社?)を使っている。これはいわゆる「割り勘」をスマホで行うサービス。その場で個人個人のお金の決済が完了する。(おさいふ携帯の個人同士やりとりのようなもの)。従来「小切手」が浸透しキャッシュでやりとりしない文化だったのでこのサービスが生まれた。

S: 実は米国では QR コードが全然普及していない。

S: このサービスのビジネスモデル(生業として広告収入?)がはっきりしないが、急速にカスタマーを広げることによりマーケットの主導権を得る方針と思われる。

(質問) Apple Pay が大変注目されているが... 実は内容がまだよく分からない
世界一お金持ち(=時価総額世界一)の Apple が金融ビジネスを始めることが注目されているのでは。

S: Mobile を使った Financial Biz は未知数。たとえば、複数のクレジットカード会社のカードを Mobile 端末で選択して支払うことができる。

D: もう一つ、米国では FreeSIM が普及している。その前提として Mobile 機器が自由に選択することができる。日本では通話可能な Mobile 機器が簡単に選択できないため(海外製の端末が国内の電波法に合格している認証を得ていないため)、実質(HW が同じものであっても)Docomo, au, Softbank3 社のものに限られてしまう。通話を行うためには Skype 等を使わなければならない。

D: 情報漏えい事件などが発生した場合などの経営の対応が迅速である。カスタマー対応をすぐに実施し、ブランドの影響を最小限に抑えている。

(伊藤氏コメント、但し Sena&Daniele 氏の意見を代弁している): 米国と言っても NY や LA, SF 等大都市においては、ほとんどこの世代は、ネットの世界には個人情報の保護に関するプラバシーは、あり得ないと思っている。加えて、彼女たちも日本の事は注目している中で、安倍政権は結構色々積極的に政策を打ち出しているものの、何か国、或いは社会全体の動きが遅く、アウトプット(成果)が見えづらいと感じている。

(NY Times 紙よりの引用): 米国も多くの問題を抱えながら、次期デジタル(IT)戦略を構築し続けており、世界中との関係性をも重要視しつつ、実際のビジネスとしての手を打ち続けているの比べて、日本の閉鎖性とマネジメントのちぐはぐさは米国から見ても問題があると思う。米国との同質なものである必要は無く、もっと独自性を打ち出す力があるのにそうならないのは、やはり現状のマネジメント体質、現実日本以外の世界との違いの認識、リスクに対する考え方等によるものが大きいと思われる。

4. 次回 ITBO 研究会の日程

	開催日	時間	場所
7	3月10日(火)	16:30-18:30	BCAO 東京オフィス

4. お願い

- ① 次回、来年度の活動日を決めます。欠席される方でご希望がある方は3/9(月)までに座長、副座長までご連絡ください。

② 現在、ML に登録いただいているメールアドレスについてご確認をお願いいたします。直接業務に関係ない IT&B0 研のメールが大量に送信されると社内規定上問題になることを懸念しています。もし、個人のメールアドレスを変更される方は、新しいメールアドレスを座長、副座長まで連絡してください。

③ 昨年 9 月からさまざまな情報を収集してきましたが、次回から今まで研究会で収集した (FACT) を整理して (FINDING) を纏めます。順次 ML で流しますので、どしどしご意見をお返してください。

ITB0 研は日々の ML での情報交換&ディスカッション活動が中心です。月例会は、ML でのやりとりの整理と発信者からの追加コメントとみなさんのディスカッションです。

ML でのやりとりは座長にて交通整理を行うので、みなさん、積極的に情報を流してください。

6. 2014年度 ITB0研究会会員 (敬称 略)

No.		氏名	参加	所属
1	座長	大塚 純一	○	
2	副座長	関山 雄介		大成建設
3	副座長	伊藤 高信	○	FUN Inc.
4		近藤 隆一		
5		岡 伸幸		ソフトバンク BB
6		吉川 明人	○	NECネクサソリューションズ
7		安齊 隆正		富士通エフサス
8		海田 雅人		東京共同会計事務所
9		西出 三輝	○	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
10		野原 英則	○	京セラ
11		宮島 正孝		セイコーエプソン
12		山口 孝一	○	IIJ
13		森口 泰樹		AIG
14		加藤 誠		日立コンサルティング
15		後藤 富雄	○	イマジネーションテクノロジーズ
16		木村 信弥		株式会社 ディー・オー・エス
17		小尾 一介		Octave
18	オブザーバー	伊藤 嘉浩		キングフィッシュコミュニケーション
19	オブザーバー	日下 太一		住友電気工業
20	オブザーバー	斎藤 衛		IIJ
21	オブザーバー	小友 修		富士通エフサス
22	オブザーバー	飯田 清人		江崎グリコ株式会社

最後に、現在 ITB0 研のオブザーバーとして、伊藤 (嘉) 様 (キングフィッシュコミュニケーション)、日下様 (住友電気工業)、斎藤様 (IIJ)、小友様 (富士通エフサス)、飯田

様（江崎グリコがMLにて参加されています。

（以上）